Web グラフィカル ユーザ インターフェイスの使用

- Web GUI の使用に関する前提条件，1 ページ
- Web GUI の使用に関する情報，2 ページ
- スイッチのコンソール ポートの接続，3 ページ
- GUI へのログイン，4 ページ
- Web モードおよびセキュア Web モードの有効化，4 ページ
- スイッチ Web GUI の設定，5 ページ

Web GUI の使用に関する前提条件

有線 Web UI（デバイス マネージャ）のシステム要件

ハードウェア要件

表 *1*：最小ハードウェア要件

Processor Speed	DRAM	色数	解決策（Resolution）	Font Size
233 MHz 以上 [1]	512 MB [2]	256	1024 X 768	小

1 1 GHz を推奨します。
2 1 GB DRAM を推奨します。

ソフトウェア要件

- - Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2003、または Windows 2000

- - Microsoft Internet Explorer 6.0 と 7.0、および Mozilla Firefox バージョン 26.0 まで、JavaScript が有効であること。

ワイヤレス Web UI のソフトウェア要件

- オペレーティング システム
  - Windows 7
  - Windows 8
  - Mac OS X 10.8
- ブラウザ：
  - Google Chrome バージョン 35
  - Microsoft Internet Explorer バージョン 10 または 11
  - Mozilla Firefox バージョン 30 以降
  - Safari バージョン 6.1

Web GUI の使用に関する情報

Web ブラウザ、つまり、グラフィカル ユーザ インターフェイス（GUI）は、各スイッチに組み込まれています。

サービス ポート インターフェイスまたは管理インターフェイスを使用して GUI にアクセスできますが、サービス ポート インターフェイスの使用をお勧めします。GUI のページ上部にある [Help] をクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。オンライン ヘルプを表示するには、ブラウザのポップアップ ブロッカを無効にする必要があります。

（注） 次の特殊文字は GUI ではサポートされていません：アンパサンド（&）、セミコロン（;）、より小さい（<）。

Web GUI の機能

スイッチWeb GUI は次の機能をサポートします。

構成ウィザード：IP アドレスおよびローカル ユーザ名/パスワードの初期設定、または認証サーバでの認証（必須特権 15）の後、ウィザードは最初の無線設定を完了するための手順を提供します。[Configuration] > [Wizard] を起動し、次のことを設定するために、9 ステップの手順に従います。

- 管理ユーザ

- SNMP システムの概要
- Management Port
- ワイヤレス管理
- RF Mobility と国番号
- モビリティ設定
- WLAN
- 802.11 設定
- 設定時間

[Monitor] タブ:

- 概要のスイッチ、クライアント、アクセス ポイントの詳細を表示します。
- すべての無線および AP 接続統計情報を表示します。
- アクセス ポイントの電波品質を表示します。
- すべてのインターフェイスおよび CDP トラフィック情報の Cisco Discovery Protocol (CDP) のすべてのネイバーの一覧を表示します。
- 分類 Friendly、Malicious、Ad hoc、Classified、および Unclassified に基づいて、すべての不正アクセス ポイントを表示します。

[Configuration] タブ:

- Web 設定ウィザードを使用して、すべての初期操作のためにスイッチを設定できます。ウィザードでは、ユーザの詳細、管理インターフェイスなどを設定できます。
- システム、内部 DHCP サーバ、管理、およびモビリティ管理パラメータを設定できます。
- スイッチ、WLAN、無線を設定できます。
- スイッチで、セキュリティ ポリシーを設定できます。
- オペレーティング システム ソフトウェアの管理コマンドスイッチにアクセスできます。

[Administration] タブで、システム ログを設定できます。

スイッチのコンソール ポートの接続

はじめる前に

基本的な動作ができるようにスイッチを設定するには、VT-100 ターミナル エミュレーション プログラム（HyperTerminal、ProComm、Minicom、Tip など）を実行する PC にコントローラを接続する必要があります。

手順

ステップ 1 ヌルモデム シリアル ケーブルの一端をスイッチの RJ-45 コンソール ポートに接続し、もう一端を PC のシリアル ポートに接続します。

ステップ 2 AC 電源コードをスイッチに接続し、アース付き 100 ～ 240 VAC、50/60 Hz の電源コンセントに差し込みます。電源を入れます。起動スクリプトによって、オペレーティング システム ソフトウェアの初期化（コードのダウンロードおよび電源投入時自己診断テスト）および基本設定が表示されます。スイッチの電源投入時自己診断テストに合格した場合は、起動スクリプトによって設定ウィザードが実行されます。画面の指示に従って、基本設定を入力してください。

ステップ 3 **yes** と入力します。CLI セットアップ ウィザードの基本的な初期設定パラメータに進みます。gigabitethernet 0/0 インターフェイスであるサービス ポートの IP アドレスを指定します。
構成ウィザードの設定パラメータを入力すると、Web GUI にアクセスできます。これで、スイッチがサービス ポートの IP アドレスにより設定されます。

GUI へのログイン

（注） ローカル認証を使用するようにコントローラが設定されている場合は、TACACS 認証を設定しないでください。

手順

ブラウザのアドレス バーに IP アドレススイッチを入力します。セキュアな接続の場合は、「https://ip-address」と入力します。非セキュアな接続の場合は、「http://ip-address」と入力します。

Web モードおよびセキュア Web モードの有効化

手順

ステップ 1 [Configuration] > [Switch] > [Management] > [Protocol Management] > [HTTP-HTTPS]を選択します。
[HTTP-HTTPS Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 Web モード（ユーザが「http://ip-address」を使用してスイッチ GUI にアクセスできます）を有効にするには、[HTTP Access] ドロップダウン リストから [Enabled] を選択します。有効にしない場合は、[Disabled] を選択します。Web モード（HTTP）の接続は、セキュリティで保護されません。

ステップ 3 セキュア Web モード（ユーザが「https://ip-address」を使用してスイッチ GUI にアクセスできます）を有効にするには、[HTTPS Access] ドロップダウン リストから [Enabled] を選択します。有効にしない場合は、[Disabled] を選択します。セキュア Web モード（HTTPS）の接続は、セキュリティで保護されています。

ステップ 4 [IP Device Tracking] チェックボックスで、デバイスを追跡することを選択します。

ステップ 5 [Enable] チェックボックスでトラスト ポイントをイネーブルにすることを選択します。

ステップ 6 [Trustpoints] ドロップダウン リストからトラストポイントを選択します。

ステップ 7 [HTTP Timeout-policy (1 to 600 sec)] テキスト ボックスに、非アクティブ化により Web セッションがタイム アウトするまでの時間を秒単位で入力します。
有効な範囲は 1 ～ 600 秒です。

ステップ 8 [Server Life Time (1 to 86400 sec)] テキスト ボックスにサーバのライフタイムを入力します。
有効な範囲は 1 ～ 86400 秒です。

ステップ 9 [Maximum number of Requests (1 to 86400)] テキスト ボックスに、サーバが受け入れる最大接続要求数を入力します。
指定できる接続数の範囲は、1 ～ 86400 です。

ステップ 10 [Apply] をクリックします。

ステップ 11 [Save Configuration] をクリックします。

スイッチ Web GUI の設定

設定ウィザードでは、スイッチ上での基本的な設定を行うことができます。このウィザードは、スイッチを購入した直後やスイッチを工場出荷時のデフォルトにリセットした後に実行します。設定ウィザードは、GUI と CLI の両方の形式で使用できます。

手順

ステップ 1 PC をサービス ポートに接続し、スイッチと同じサブネットを使用するように IPv4 アドレスを設定します。スイッチが IOS XE イメージとともにロードされ、サービス ポート インターフェイスが gigabitethernet 0/0 として設定されます。

ステップ 2 PC で Internet Explorer 10 以降、Firefox 2.0.0.11 以降、または Google Chrome を開始し、ブラウザ ウィンドウに管理インターフェイスの IP アドレスを入力します。管理インターフェイスの IP アドレスは、gigabitethernet 0/0（別名、サービス ポート インターフェイス）と同じです。初めてログインするときに、HTTP のユーザ名およびパスワードを入力する必要があります。デフォルトでは、ユーザ名は **admin**、パスワードは **cisco** です。
サービス ポート インターフェイスを使用するときは、HTTP と HTTPS の両方を使用できます。HTTPS はデフォルトでイネーブルであり、HTTP をイネーブルにすることもできます。

初めてログインすると、[Accessing Cisco Switch <Model Number> <Hostname>] ページが表示されます。

ステップ 3 [Accessing Cisco Switch] ページで、スイッチ Web GUI の [Home] ページにアクセスするために、[Wireless Web GUI] リンクをクリックします。

ステップ 4 最初にスイッチの設定に必要なすべての手順を実行するために、[Configuration] > [Wizard]を選択します。
[Admin Users] ページが表示されます。

ステップ 5 [Admin Users] ページで、このスイッチに割り当てる管理者のユーザ名を [User Name] テキスト ボックスに入力し、このスイッチに割り当てる管理パスワードを [Password] テキスト ボックスおよび [Confirm Password] テキスト ボックスに入力します。[Next] をクリックします。
デフォルトのユーザ名は **admin** で、デフォルトのパスワードは **cisco** です。またはスイッチの新しい管理者ユーザを作成できます。ユーザ名とパスワードには、最大 24 文字の ASCII 文字を入力できます。

[SNMP System Summary] ページが表示されます。

ステップ 6 [SNMP System Summary] ページで、スイッチの次の SNMP システム パラメータを入力し、[Next] をクリックします。

- [Location] テキスト ボックスでユーザ定義可能なスイッチの場所。
- [Contact] テキスト ボックスで名前や電話番号などのユーザ定義可能な連絡先の詳細。
- SNMP 通知をさまざまな SNMP トラップで送信するには、[SNMP Global Trap] ドロップダウン リストで [Enabled] を選択し、さまざまな SNMP トラップに対して SNMP 通知を送信しないようにするには [Disabled] を選択します。
- システム ログ メッセージを送信するには [SNMP Logging] ドロップダウン リストから [Enabled] を選択し、システム ログ メッセージを送信しない場合は [Disabled] を選択します。

（注） SNMP トラップ サーバは、ディストリビューション ポートから到達可能であることが必要です（gigabitethernet0/0 サービスまたは管理インターフェイスは経由しません）。

[Management Port] ページが表示されます。

ステップ 7 [Management Port] ページで、管理ポートのインターフェイス（gigabitethernet 0/0）の次のパラメータを入力し、[Next] をクリックします。

- [IP Address] テキスト ボックスでサービス ポートに割り当てたインターフェイスの IP アドレス。
- [Netmask] テキスト ボックスで、管理ポートのインターフェイスのネットワーク マスクのアドレス。
- [IPv4 DHCP Server] テキスト ボックスで選択されたポートの IPv4 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) のアドレス。

[Wireless Management] ページが表示されます。

ステップ 8 [Wireless Management] ページでは、次のワイヤレス インターフェイス管理の詳細を入力し、[Next] をクリックします。

- [Select Interface] ドロップダウン リストから、インターフェイスとして VLAN または 10 ギガビット イーサネットを選択します。
- [VLAN ID] テキスト ボックスで VLAN タグの ID。VLAN タグがない場合は 0。
- [IP Address] テキスト ボックスで、アクセス ポイントが接続されたワイヤレス管理インターフェイスの IP アドレス。
- [Netmask] テキスト ボックスで、ワイヤレス管理インターフェイスのネットワーク マスクのアドレス。
- [IPv4 DHCP Server] テキスト ボックスで DHCP IPv4 IP アドレス。

インターフェイスとして VLAN を選択すると、[Switch Port Configuration] テキスト ボックスで指定されたリストから、ポートとしてトランク ポートまたはアクセス ポートを指定できます。

[RF Mobility and Country Code] ページが表示されます。

ステップ 9 [RF Mobility and Country Code] ページで、RF モビリティ ドメイン名を [RF Mobility] テキスト ボックスに入力し、[Country Code] ドロップダウン リストから現在の国コードを選択して、[Next] をクリックします。GUI からは、1 つの国番号のみを選択できます。

（注） RF グループ化パラメータとモビリティ設定を設定する前に、必ず関連する概念のコンテンツを参照してから、設定に進むようにしてください。

[Mobility Configuration] ページが開き、モビリティのグローバル コンフィギュレーション設定が表示されます。

ステップ 10 [Mobility Configuration] ページで、次のモビリティのグローバル コンフィギュレーション設定を参照および入力し、[Next] をクリックします。

- [Mobility Role] ドロップダウン リストから、[Mobility Controller] または [Mobility Agent] を選択します。
  - [Mobility Agent] を選択した場合は、[Mobility Controller IP Address] テキスト ボックスにモビリティ コントローラの IP アドレス、[Mobility Controller Public IP Address] テキスト ボックスにモビリティ コントローラの IP アドレスを入力します。
  - [Mobility Controller] を選択すると、モビリティ コントローラの IP アドレスとモビリティ コントローラのパブリック IP アドレスがそれぞれのテキスト ボックスに表示されます。
- [Mobility Protocol Port] テキスト ボックスにモビリティ プロトコルのポート番号が表示されます。
- [Mobility Switch Peer Group Name] テキスト ボックスにモビリティ スイッチのピア グループ名が表示されます。
- [DTLS Mode] テキスト ボックスで、DTLS がイネーブルであるかどうかが示されます。

DTLS は、標準化過程にある TLS に基づくインターネット技術特別調査委員会（IETF）プロトコルです。

- [Mobility Domain ID for 802.11 radios] テキスト ボックスに、802.11 無線のモビリティ ドメイン ID が表示されます。
- [Mobility Keepalive Interval (1-30)sec] テキスト ボックスで、ピアスイッチに送信する各 ping 要求の間隔（秒単位）。

  有効範囲は 1 ～ 30 秒で、デフォルト値は 10 秒です。
- [Mobility Keep Alive Count（3-20）] テキスト ボックスで、ピア スイッチが到達不能と判断するまでに ping 要求を送信する回数。

  有効な範囲は 3 ～ 20 で、デフォルト値は 3 です。
- [Mobility Control Message DSCP Value (0-63)] テキスト ボックスで、モビリティ スイッチに設定される DSCP 値。

  有効な範囲は 0 ～ 63 で、デフォルト値は 0 です。
- [Switch Peer Group Members Configured] テキスト ボックスで設定したモビリティ スイッチ ピア グループ メンバーの数を表示します。

[WLANs] ページが表示されます。

ステップ 11 [WLANs] ページで、次の WLAN 設定パラメータを入力し、[Next] をクリックします。

- [WLAN ID] テキスト ボックスで WLAN 識別子。
- [SSID] テキスト ボックスで、クライアントに関連付けられている WLAN の SSID。
- [Profile Name] テキスト ボックスで、クライアントが使用する WLAN の名前。

[802.11 Configuration] ページが表示されます。

ステップ 12 [802.11 Configuration] ページで、[802.11a/n/ac] チェックボックスと [802.11b/g/n] チェックボックスのいずれかまたは両方をオンにして 802.11 無線をイネーブルにし、[Next] をクリックします。
[Set Time] ページが表示されます。

ステップ 13 [Set Time] ページで、次のパラメータに基づいてスイッチの日時を設定し、[Next] をクリックします。

- [Current Time] テキスト ボックスで、スイッチの現在のタイムスタンプが表示されます。
- [Mode] ドロップダウン リストから [Manual] または [NTP] を選択します。

  NTP サーバの使用時に、スイッチに接続されているすべてのアクセス ポイントが、使用可能な NTP サーバ設定に基づいて時間を同期します。
- [Year, Month, and Day] ドロップダウン リストからスイッチの日付を選択します。
- [Hours, Minutes, and Seconds] ドロップダウン リストから時間を選択します。

- 時間帯を [Zone] テキスト ボックスに入力し、スイッチで設定された現在の時刻と比較した場合に必要なオフセットを [Offset] ドロップダウン リストから選択します。

[Save Wizard] ページが表示されます。

ステップ 14 [Save Wizard] ページで、この手順を使用してスイッチで行った設定を確認できます。設定値を変更する場合は、[Previous] をクリックし、該当ページに移動します。
すべてのウィザードについて成功メッセージが表示された場合にのみ、ウィザードを使用して作成したスイッチ設定を保存できます。[Save Wizard] ウィザード ページでエラーが表示された場合、スイッチの初期設定のためにウィザードを再実行する必要があります。

統合プラットフォーム コンフィギュレーション ガイド、Cisco IOS XE 3.3SE（Catalyst 3850 スイッチ）